

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 6 月 7 日(2022.6.7)

【公開番号】特開 2022-31876(P2022-31876A)
【公開日】令和 4 年 2 月 22 日(2022.2.22)
【年通号数】公開公報(特許)2022-032
【出願番号】特願 2021-198948(P2021-198948)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 6 1
A 6 3 F 5/04 6 0 1 A
A 6 3 F 5/04 6 1 1 A
A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 5 月 30 日(2022.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定のスイッチと、
ベットスイッチと、
を備え、

前記ベットスイッチが操作されることによりベット処理が実行可能な状態にて、所定のエラーとなり、当該所定のエラー中となっており、且つ前扉の開放を検知している状況において、所定のエラーが解除可能な特定のスイッチが押下され、当該特定のスイッチの押下が継続されているときに前記ベットスイッチが操作されるとベット処理が実行されないよう構成されており、

30

前記ベットスイッチが操作されることによりベット処理が実行可能な状態であって、所定のエラーとなっておらず、且つ前扉の開放を検知していない状況にて、特定のスイッチが押下され、当該特定のスイッチの押下が継続されているときに前記ベットスイッチが操作されるとベット処理が実行可能であるよう構成されている
遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本態様に係る遊技機は、特定のスイッチと、ベットスイッチと、を備え、前記ベットスイッチが操作されることによりベット処理が実行可能な状態にて、所定のエラーとなり、当該所定のエラー中となっており、且つ前扉の開放を検知している状況において、所定のエラーが解除可能な特定のスイッチが押下され、当該特定のスイッチの押下が継続されているときに前記ベットスイッチが操作されるとベット処理が実行されないよう構成されており、前記ベットスイッチが操作されることによりベット処理が実行可能な状態であって

50

、所定のエラーとなっておらず、且つ前扉の開放を検知していない状況にて、特定のスイッチが押下され、当該特定のスイッチの押下が継続されているときに前記ベットスイッチが操作されるとベット処理が実行可能であるよう構成されている。

また、本態様に係る遊技機は、複数のリールと、開閉可能な前扉と、複数のストップスイッチと、内部抽せん手段と、リールを制御するリール制御手段と、遊技の進行を制御する主遊技部と、演出を表示可能な演出表示部と、演出を制御する副遊技部とを備え、主遊技部は、遊技の開始に係るリールが回転開始する第1のタイミングで、リール回転開始コマンドを副遊技部側に送信可能であり、ストップスイッチの操作が受け付けられた第2のタイミングで、停止コマンドを副遊技部側に送信可能であり、副遊技部は、ストップスイッチの操作を促す停止示唆画像を演出表示部に表示可能であり、前扉が閉鎖されており、前記リール回転開始コマンドを受信してから、前記停止コマンドを受信していない状況において所定時間が経過すると、停止示唆画像を表示可能に構成されており、前扉が閉鎖されており、前記リール回転開始コマンドを受信してから、前記停止コマンドを受信していない状況において、前記リール回転開始コマンドの受信から前記所定時間の経過前に前扉が開放され、その後前記リール回転開始コマンドの受信から前記所定時間の経過前に前扉が閉鎖され、その後前記停止コマンドを受信していないまま前記リール回転開始コマンドの受信から前記所定時間が経過すると、停止示唆画像を表示可能に構成されており、前扉が閉鎖されており、前記リール回転開始コマンドを受信してから、前記停止コマンドを受信していない状況において、前記リール回転開始コマンドの受信から前記所定時間の経過前にリールへの所定の回転不良が発生し、その後前記停止コマンドを受信していないまま前記リール回転開始コマンドの受信から前記所定時間が経過すると、停止示唆画像を表示可能に構成されていることを特徴とする態様であつてもよい。

10

20

30

40

50